

## 平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

### 1. 学校概要

学校名 石川県金沢市立新竪町小学校  
 種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  中高一貫教育  高等学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 特別支援学校  その他 ( )  
 所在地 〒920-0995  
 石川県金沢市新竪町3丁目25  
 E-mail shintate-e@kanazawa-city.ed.jp  
 Website <http://cms.kanazawa-city.ed.jp/shintate-e/>  
 児童生徒数 男子68名 女子57名 合計125名  
 児童・生徒の年齢7歳～12歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

### 3. 活動内容

#### (1) 1年間の主な活動内容

## テーマ「大好き新豎 つなげよう 未来へ」

本校は創立146年を迎え、歴史と伝統がある学校である。校区には城下町の町並みや文化遺産が存在し、昔から住んでいる方が多く、学校と地域のつながりが深い。

こうした本校の特色を生かして、持続可能な社会づくりの担い手を育てるために、校区の自然・文化・福祉について、21世紀の学習の4本柱の1つ「共に生きることを学ぶ」を大切にして、主体的・協同的に学習することで、ふるさとへの愛着を育み、未来に向けて自分ができることを考え判断し、行動できる子どもを育成したいと考え、上記のテーマを設定した。

#### ① 1年生「季節と遊ぼう」(生活科)

生活科で季節ごとに、身近な自然を見つける活動をした。夏は虫探しをした。秋は見つけた草花でリース作りをした。また、きれいな葉を見つけて葉づくりをした。冬は池に張った氷をみつけたり、雪で遊んだりした。

四季を体感する活動を通して、街中の新豎町校区という環境でも、身近な自然を発見できることに驚いていた。



#### ② 2年生「どきどきわくわく町たんけん」

##### (生活科)

生活科で新豎町商店街や広坂界隈を探検した。商店街にある飲食店や広坂界隈のダンスホールや教会などについて調べた。町たんけんして調べたことを地図やポスターにまとめ、1年生に紹介した。

新豎町校区には今まで気付かなかった場所があることを知り校区に対する関心が高まった。



#### ③ 3年生「地域の職人さんに学ぶ

##### (畳職人・染め物職人)」(総合的な学習の時間)

総合的な学習の時間で、地域の茶道の先生を訪問したり、地域の和菓子店の工場や畳工場を見学したりした。さらに、地域にいる職人さんをお呼びし、染め物の体験をした。

金沢市や新豎町校区に息づく伝統文化や伝統工芸の素晴らしさを実感できた。



#### ④ 4年生「金沢の偉人に学ぶ、昔の学校の様子を学ぶ」(総合的な学習の時間)

総合的な学習の時間で、金沢ふるさと偉人館を見学し、校区の偉人、藤岡朔太郎や三宅雪嶺、鈴木大拙について調べ、ポスターにまとめた。さらに、校内の地域資料室で、昔の道具を見たり触ったりして、昔の様子を知ることができた。

金沢市や新豎町校区の先人の偉業に気付き、同じ校区にいたことに改めて驚くとともに、その生き方にも感銘を受けていた。



**⑤ 5年生「金沢の食文化を学ぶ，新竪町校区の環境を学ぶ」（総合的な学習の時間）**

総合的な学習の時間で，学級園に加賀野菜の打木赤皮甘栗かぼちゃを栽培し，収穫することができた。また，校区の犀川の水質について，ゲストティーチャー呼びして調べた。

様々な体験活動から，新竪町校区の環境の良さに気付き，様々な環境問題にも目を向けるようになった。



**⑥ 6年生「自分の生き方について考えよう」～金沢の町を学ぶ，新竪町校区の先輩に学ぶ～（総合的な学習の時間）**

金沢百万石まつりの由来，金沢市歌に込められた思いについて調べまとめた。ふるさと金沢のより良い未来を思い，提灯行列の市歌隊として歌うことができた。

また，連合町会長や元 PTA 会長をゲストティーチャーにお招きし，「つながりを大切にした生き方」について学んだ。新竪町校区で育てられたことに感謝すると共に，これからの生き方について考えることができた。



**⑦ 全学年「地域とともにつながる しんたて」（福祉）**



児童が小学校に併設するデイサービスセンター「しらうめ園」を訪問し，肩たたきをしたり，一緒に手遊びをしたりした。また，折



り紙の折り方を教えたり，一緒に歌を歌ったりした。さらに，高学年は，地域のお年寄り宅に訪問し手作りプレゼントを渡すことで，交流を深めた。

六年間，定期的に交流活動を続けたことで，校区のお年寄り顔見知りになり，自然に心が通い合うようになった。さらに，児童は，校区を支えてくれたお年寄りを尊敬し，今度は自分たちがよりよい新竪町校区を作っていきたいという思いを抱いた。

このように、新豎町校区で体験したことや学習したことを生かす姿が見られ、「人・もの・こと」を通じた地域とのつながりが深まっていった。21世紀の学習の4本柱「共に生きることを学ぶ」を留意したことで、自分たちだけではなく、他者を大切にする気持ちをもてたと同時に、よりよい「新豎町校区」やふるさと「金沢」を築いていきたいという思いをもつことができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（ \_\_\_\_\_ ）